飯山市成人式

平成23年度飯山市成人式が、8月15日（月）に飯山市民会館を会場に開催されます。

今年度の該当者は、平成2年4月2日から平成3年4月1日までに生まれて、現在飯山市内に居住されている方や、平成17年度に市内の中学校を卒業された人で就職・進学などで市外に居住されている方々で289名です。

該当者には7月上旬に案内状を生家に郵送しました。7月1日現在の名簿ですので、その後転入された方など案内状が届かない方は、大変お手数をお掛けいたしますが、飯山市公民館（☎㉒3342）までご連絡をお願いいたします。

成人式は、式典とアトラクションの2部構成で、式典には来賓として中学校卒業時の担任の先生もお招きする予定です。

また、新成人の皆さん全員に成人式当日の記念写真や、成人になっての感想などで構成した記念誌を、後日お届けいたします。

と　き　8月15日（月）午前9時30分～
ところ　飯山市民会館 かまくらホール

主催：飯山市・飯山市教育委員会・飯山市選挙管理委員会

▷葉っぱのバッタ（温井）

現在ふるさと館では、「飯山三十六景～藤岡牧夫イラスト原画展～」を開催しています。絵本作家・藤岡牧夫氏の飯山を舞台に美しい自然と千曲川の風景を描いた絵本のイラスト原画を36点展示しています。

これらの原画は、山や川、民家など飯山の景色が忠実に表現されており、見慣れた風景もあれば、どこか懐かしさを感じさせてくれる風景もあります。

藤岡氏の自然と人との調和をファンタスティックに描いた心和むイラスト原画をぜひご覧ください。

☆イベント☆
『藤岡牧夫トーク会』
○7月31日（日）
○午後1時30分～3時
○飯山市公民館講堂

藤岡牧夫さんによる絵の制作過程の話やエピソードのほか、映像を見ながら藤岡さんご本人に朗読していただく「ささ舟カヌー朗読会」を開催します。

飯山市ふるさと館企画展　飯山三十六景～藤岡牧夫イラスト原画展～

● 利 用 案 内
期　間　8月21日（日）まで
場　所　飯山市ふるさと館
開館時間　午前9時～午後6時まで
休 館 日　毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
入 館 料　大人200円　小中学生100円
※市内の小中学生は無料

開催報告

「幻のチョウ～オオルリシジミ観察会」

飯山市で発見された幻のチョウ・オオルリシジミの観察会が6月11日（土）、「北信濃の里山を保全活用する会（会長 井田秀行信州大学准教授）」主催により開催されました。

当日はあいにくの雨模様の中、「幻のチョウ」を一目見ようと市内外から43名もの参加者が集まり、田下昌志鱗翅（りんし）学会理事など専門家の説明に耳を傾けながら熱心にチョウを探す姿が見られました。

◁羽化後間もないと思われるオオルリシジミ

▷雨の中、オオルリシジミにカメラを向ける参加者たち

降りやまぬ雨のため、チョウの舞うところを見ることはできませんでしたが、食草であるクララにとまって翅（はね）を休めている成虫を4～5頭確認することができました。中には羽化したばかりと思われるオオルリシジミも確認され、かわるがわる写真を撮りながら、「とても綺麗で愛らしい！」などと、静かな歓声が参加者から起こっていました。

今後、飯山市では、オオルリシジミなどの希少な野生動植物の保護活動を、里山の環境保全活動のシンボルとして継続的に取り組んでいく予定です。

北信濃の里山を保全活用する会
会員募集中

本会は、市民の皆様が里山の自然の楽しさ、探求・発見することの喜びを味わい、地域で協働して活動することの大切さを実感すること、さらには広く全国の皆様に北信濃の豊かな里山を知っていただき、多くの方々に北信濃を訪れていただくために設立されました。

そのため、絶滅に瀕しているオオルリシジミをはじめとした“里山”の動植物を知っていただき、市民の皆様とともに里山の環境保全活動や動植物の生態観察などの学習会を行います。

本会の活動趣旨にご賛同いただける方であればどなたでも入会できますので、ご連絡をお待ちしております。

●入会申し込みは
飯山市公民館（62－3342）まで
※年会費1,000円を申し受けます。

▽まつり伝承館「天伯」にて

ふるさと館友の会
～現地学習会を開催しました～

飯山市ふるさと館友の会では、ふるさと館活動の充実および会員の学習意識、相互の親睦を図るため、年2回市外の文化施設等の先進地視察を行っています。今回は小菅の柱松行事が国の重要文化財に指定されたことにあわせ、同じく国の重要文化財に指定されている飯田市（旧下伊那郡南信濃村・上村）の「遠山郷・霜月まつり」の文化に触れました。

霜月まつりを再現したジオラマやまつりの映像、そして各施設や地元の方のお話を聞き、遠山郷の方々の霜月まつりを伝承していこうという強い思いを感じとることができました。飯山にも古くから伝えられている祭りがたくさんあります。これらの貴重な祭りがこれからも後世につなげていけるよう、考えていかなければならないと実感しました。

総合学習センターだより
No.51
平成23年（2011）7月15日発行
発行・編集：総合学習センター
公民館報　NO.661
図書館だより　NO.388

飯山市の歴史

お茶をたしなむ中世豪族

常盤大橋のふもとにある大倉崎館跡は、14～15世紀ごろに当地をおさめた権力者の館跡と考えられています。

壮大な堀で囲まれた内部から、中国から輸入された青磁・白磁や能登半島から運ばれた珠洲焼（すずやき）の大甕（おおがめ）、銭貨、すずりなどが出土したほか、天目茶碗（てんもくちゃわん）や瓦質風炉（がしつふうろ）といったお茶道具も発見されており、優雅に喫茶・喫湯を楽しむ中世豪族の姿がしのばれます。

飯山公民館　電話：62-3342　FAX：62-5940
秋津公民館　電話/FAX：62-2330
木島公民館　電話/FAX：62-0555
瑞穂公民館　電話/FAX：65-2501
柳原公民館　電話/FAX：62-5562
富倉公民館　電話：67-2136　FAX：67-2211
外様公民館　電話/FAX：62-1029
常盤公民館　電話/FAX：62-3200
太田公民館　電話/FAX：65-4579
岡山公民館　電話：69-2010　FAX：69-1800